

TOSHIBA TransCube 10



<http://dynabook.com/pc/catalog/whms/020520t1/>

TransCube 10 は当時ブロードバンドルータと無線 LAN アクセスポイント、80GB の HDD、TV チューナ、MPEG2 エンコーダ / デコーダが統合されたホームサーバーの先駆けのような存在だった。

中身は LINUX ベースのキャプチャー機能・無線 LAN 付きコンパクト PC なのだが、iCommand を利用し外出先から i-mode で予約設定ができたのはちょっと感動的でした
画質は少々安価なキャプチャーカードに近い物があり少々不満がありました。

発売時期 2002 年 8 月

標準価格 (オープンプライスだが発売当初は 12 万 9800 円前後で登場)

製品名	TransCube 10
CPU	x86 系 (クロック周波数非公開ですがセレロン 300)
メモリ	非公開
HDD	80G バイト (シーゲート製でした)
無線 LAN	IEEE 802.11b 準拠 (64/128bit WEP 対応)
TV チューナー	UHF/VHF/CATV 対応
MPEG2 変換	専用ハードウェアエンコーダ & デコーダ (富士通製チップ)
ルータ	WAN 側 IP アドレス : PPPoE、DHCP、固定 IP サポート
	アドレス変換 : NAT/IP マスカレード、ポートフォワーディング対応
	フィルタリング機能 : パケットフィルタリング、MAC アドレスフィルタリング
本体サイズ	104 (幅) × 319 (奥行き) × 219 (高さ) ミリ
重量	約 3.1 キロ

・レビュー

- ・無線 LAN 視聴経由の視聴はかなりキツイです。
- ・パソコンで編集・書き込みをする事を割り切った使い方をすれば、コストパフォーマンス

- スは高いです。
- ・ P C と違い、外出時録画予約ができるのは良いです。
 - ・ L I N E 入力には機器に電源がはいていないと失敗します。
 - ・ マクロビジョン検知あり。
 - ・ 有線 L A N でのデータ転送も結構時間がかかります。(1.5 G で 8 分弱でした)